



一般社団法人
日本老年療法学会
The Japan Geriatric Therapy Society

日本老年療法学会

The Japan Geriatric Therapy Society

Aug. 2022
Vol. 01
No. 01

News letter

発行：一般社団法人 日本老年療法学会

理事長からのご挨拶

この度、日本老年療法学会よりニュースレターが発刊されることになりました。理事長としてご挨拶申し上げます。

本学会が発足して1年が経過しました。本学会設立の背景として、療法士のみならず、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士など様々な予防・医療・介護専門職及び基礎医学分野の研究者との交流の場として本学会を設立することにより、ますます深刻化するアジアの国々の高齢化に向けた対策の知見を創出したいという思いがありました。

このような本学会の思いに賛同いただいている会員の皆様をはじめ、多くの皆様のご尽力により、設立記念シンポジウムの開催、日本老年療法学会誌の創刊を迎えることができました。また、2022年10月には、沖縄での第1回学術集会開催も予定しております。今後も多くの学際的な活動を通じて老年療法学の確立を目指し、保健、

医療、福祉領域における学術的貢献のみならず、省庁、行政、産業界と連携して、得られた知見を広く社会実装することを目指していきます。

これからは、HPでのお知らせや学会誌、学術集会での情報発信に加えて、本学会の最新の活動状況や老年療法学の話題について広く皆様にお知らせし、この分野に興味を持っていただきたいと考え、ニュースレターで情報を発信することとした。一人でも多くの皆様にご理解いただき、本学会の活動へのお力添えをいただけましたら大変有難く存じます。

引き続き、さらなる医療・医学の発展と社会への貢献のため、そして多職種がそれぞれの専門性から創出された知見を共有することができる場として活動してまいります。本学会が十分な成果をあげることができますよう、是非ともご指導をよろしくお願ひ申し上げます。



一般社団法人
日本老年療法学会

理事長 島田 裕之

第1回日本老年療法学会学術集会のご案内

この度、「第1回日本老年療法学会学術集会」を2022年10月1日(土)・2日(日)に沖縄県の沖縄科学技術学院大学OISTにおいて開催することとなり、現在準備を進めております。

記念すべき第1回日本老年療法学会学術集会のテーマは「老年療法学の確立へ向けて～多職種連携の重要性～」となっております。理事長である島田裕之大会長がご挨拶で述べられているように、本学会は、療法士のみならず、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士など様々な予防・医療・介護専門職及び基礎医学分野の研究者の交流の場として設立されました。これまで老年学に関わる療法士、専門職、研究者が一堂に会する学会がなく、本学会において初めて互いの専門性を共有し研鑽することができる場が設けられたと思います。本学術集

会のテーマでもある「多職種」の方々にとって魅力的な学会となるよう、鋭意準備を進めております。プログラムについては、下記の学術集会ホームページに随時更新いたします。ぜひ、療法士のみならず、多くの専門職の方々にご参加いただき、それぞれの専門性から創出された知見を共有することで、より良い高齢者保健、医療、福祉の実現に向けた大きな一步となることを期待しております。

本学術集会は、沖縄での開催となっておりますが、10月の沖縄は夏の暑さも落ち着き、過ごしやすく、観光にもおすすめの時期となっています。また、会場である沖縄科学技術学院大学OISTがある恩納村は、沖縄を代表するリゾート地となっています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症においては、未だ予断を許さない状況が続いておりますので、現地と

Webによるハイブリッド開催での準備を進めております。現地参加の方々をはじめ、ご来場できない方々はオンラインにて、奮ってのご参加をお待ちしております。



詳細は本学術集会ホームページよりご確認ください。
<https://www.okinawa-congre.co.jp/jgts2022/index.html>



» 設立記念シンポジウムの開催報告

2021年9月18日に日本老年療法学会設立記念シンポジウムを開催しました。事前申し込みは1400名を超え、注目度の高さが伺えました。当日は講演者のみ会場となった国立長寿医療研究センターにご参集頂きました。

特別講演として、国立長寿医療研究センター理事長の荒井秀典先生より「老年学領域における療法士への期待」、桜美林大学教授の鈴木隆雄先生より「健康寿命延伸における療法士の役割と期待」をテーマにご講演頂きました。シンポジウムでは「健康寿命延伸と療法士」をテーマに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の立場から、それらご提言頂きました。共催セミナーとして、国立長寿医療研究センターの前田圭介先生、株式会社ツクイホールディングスの波戸真之介先生にご講演頂きました。

午後からは、日本老年療法学会 島田裕之理事長から、本学会

の設立趣旨や今後の活動方針をご提言頂き、本学会の進むべき方向性を確認いたしました。療法士だけでなく、医師や看護師、管理栄養士などの多職種の方にご参加頂き、盛況のうちに終了しました。



» 学術研修会開催報告

本学会では、発足初年度に全6回の学術研修会を開催いたしました(表)。いずれの研修会も本学会が取り組むべき老年療法学の課題をテーマとし、各領域の第一線で活躍されている講師の先生方にご講演いただきました。すべてオンラインでの

開催でしたが、多くのご参加をいただき、研究的な知見から療法の実践、多職種協働の工夫など、示唆に富む充実した研修会となりました。

	開催日	テーマ	
第1回	2021年10月29日(金)	【パネルディスカッション】	日本老年療法学會で取り組むべき課題 ～多様な領域からの問題提起～
第2回	2021年12月18日(土)	【レクチャー】	社会参加を促進するためにはどうすればよいか ～介護予防・フレイル予防に着目して～
第3回	2022年1月21日(金)	【レクチャー】	中等度～重度認知症者に対する エビデンスに基づく評価とリハビリテーション
第4回	2022年3月5日(土)	【シンポジウム】	認知症に対する療法士の役割と多職種連携
第5回	2022年4月23日(土)	【シンポジウム】	高齢入院患者への栄養サポートチームにおける療法士(PT・OT・ST)の役割
第6回	2022年6月11日(土)	【座談会】	先端技術を扱う療法士と語り合おう

» 第5回研修会 ディスカッションの様子

今年度は、学術大会終了後より、栄養、認知症、介護予防をテーマとする全3回の研修会を開催する予定です。レクチャーや参加型の形式を中心に企画中ですので、さらに充実した内容になる予定です。今後も多職種が知見を共有し合う魅力的な研修会を開催しますので、多くのご参加お待ちしております。

